

警察庁長官表彰受賞者からの寄稿文 警察庁長官表彰の受賞に寄せて

RBSS 委員会 委員

セコム株式会社 テクノ事業本部コンプライアンス室 室長

兼光 誠



この度は、栄えある警察庁長官表彰にお選びいただき、誠にありがとうございます。このような栄誉は自分には縁のないものだと思っておりましたので、受賞の知らせを受けて驚くとともに素直に嬉しく思います。

ただ、この栄誉はけっして自分だけの成果ではなく、これまでご指導いただいた諸先輩の皆様、協会活動をサポートしていただいた委員の皆様のおかげであると実感しています。今後も多くの方々のサポートに感謝し、協会活動に邁進していきたいと思っています。

さて、私は1995年から規格調査委員会に参加し、1996年から2014年までの18年間は委員長、副委員長を務めさせていただきました。また、電安法特別分科会、映像評価用チャート規格化分科会および防犯照明基準特別分科会の主査並びにBSSマーク制度委員会、BSS委員会およびRBSS委員会の委員をして協会活動歴は24年になります。

私の協会活動の中で、一番係わりの深い規格調査委員会における活動を一部紹介させていただきます。

技術標準の審査・制定

規格調査委員会の主要なミッションとして、技術標準(SES E)の審査・制定があります。技術標準には各委員会が作成する「機器やシステムの技術基準を規定するもの」、規格調査委員会が作成する「用語や図記号などを規定するもの」があり、その一つに「SES E 0001防犯に関する用語」があります。

私が委員会に参加した当初は登録用語が50語ほどでしたが、これを213語まで拡げ、慣用語や対応英語を充実させました。現在、インターネット上には防犯に関する用語を(著作権を侵害しない程度に)活用したコンテンツが散見されるなど、防犯啓発の一助になっていると思います。

2003年に用語「防犯カメラ」を登録しましたが、それまでは「監視カメラ」が用語登録され、業界的にも監視カメラのほうが使われていたように思います。しかし、2001年に警視庁が新宿歌舞伎町に街頭防犯カメラ50台を設置し、映像セキュリティ委員会では防犯カメラガイドを発行す

るなど「防犯カメラ」が徐々に使用されるようになりました。また、当時は個人情報保護法の成立(2003年)もあり、世の中がプライバシー侵害に対して敏感になってきた時期であったことから「監視＝不安」よりも「防犯＝安全安心」を前面に出すほうがカメラシステムの普及促進につながると考えて、防犯カメラを正式用語にし、監視カメラを慣用語に変更しました。防犯カメラが一般語として広く使用されている現状を見ると良い決断であったと思います。

委員会活動は2012年から委員会運営会議のもとに13の委員会が活動していますが、それまでは技術部会と業務部会の中に13の委員会が分かれてあり、部会間の連携がない縦割りの体制でした。規格調査委員会は技術部会にありましたが、業務部会の映像セキュリティ委員会と共同で技術標準「SES E 3013映像評価用チャート規格」、防犯照明委員会と共同で「SES E 1901犯灯の照度基準」を作成・制定しました

電気用品安全法の遵法対応



「電安法特別セミナー」<会場風景>

2004年、経済産業省のホームページ上に「防犯機器・システムは電気用品安全法(特定電気用品以外の電気用品)の規制対象となりPSEマークの表示が必要になる」という解釈が掲載され、会員会社に激震が走りました。技術部会では電安法特別分科会を設置して対応を協議し、会員会社が法令遵守のために実施すべきことを特別セミナーを開催して会員会社に示すことを決定しま

した。

私は分科会の主査として経済産業省と打ち合わせを重ね、会員会社が実施するべきことを具体的に取り纏め、特別セミナーに参加した会員会社74社152名に発表しました。特別セミナーには経済産業省にも出席していただくことで、業界をあげた遵法の姿勢を監督官庁に示すことができ、その結果が業界内で法令違反や罰則を受けることがなかったのは大変良かったと思います。

防犯警報音の普及促進

2006年、防犯警報器に使用するサイレン音「防犯警報音」をSES E 0005防犯警報音規格にて制定し、セキュリティショーや危機管理産業展でプレゼンを実施するほか、(公社)日本騒音制御工学会の会誌「騒音制御」に執筆をしました。防犯警報音を採用いただいている会社は数社ありますが、広く普及していると言える状態ではありません。



【セキュリティショー2007】東京ビックサイト西棟
「防犯警報音」普及促進



【危機管理産業展2006】
東京ビックサイト西棟アトリウム・ステージ

緊急地震速報は統一したチャイム音やサイン音が使用されているように、音を統一化するメリットは大きいと思いますので、機会を作って普及させられればと思います。

防犯警報音の規格は次のとおりです。

■周波数及び周期

- (1)基本波形は矩形波
- (2)周波数(周波数変動)は500~1,000Hzに上昇
- (3)周期(周波数変動周期)は毎秒3~5回の間で任意の値

■音圧

- (1)音圧は前方1m離れて70dB以上(85dB以上を推奨)

防犯警報音は協会ホームページから視聴することができます。

URL:https://www.ssaj.or.jp/bouhan_kiki/bouhan_sound.html

最後になりましたが、このような光栄な機会を与えていただいた片岡代表理事をはじめ、事務局の皆様にお礼申し上げます。